

～「静岡市ならではのICT教育」～

子供一人ひとりの学習状況に応じた  
「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現

【施策1】 ICTを活用した授業の実施、優良事例の蓄積、指導モデルの構築






【施策2】 遠隔による多様な人との交流・教育の実施

【施策3】 困難を抱える子どもへのICTを活用した授業の実施

【施策4】 ICTを活用できる教員の育成

【施策5】 地元大学との連携によるアドバイザーボードの設置

【施策6】 ICTを活用できる教育環境の整備

検証項目	現状	評価	学習用端末活用の様子
<p>【施策1】</p> <p>優れた教材、事例の蓄積・共有を図ることによる授業の高度化</p> 	<p>○「市内推進リーダー」による実践研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業におけるICT機器の有効な活用方法を見出せている。(子供たちの意見の集約・共有、教員と子供たちとの意思疎通等。)</li> <li>一方で、事例の情報整理や学校への共有が不十分。</li> </ul> <p>○他都市優良事例等の情報収集・共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他都市の優良事例、基本操作マニュアル等、活用に役立つ情報の収集・共有が不十分。</li> </ul> <p>【課題】 ICT活用に必要となる情報を教員が手に入れない状況。</p>	<p>○研究成果・他都市優良事例等の情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実践研究において蓄積した優良事例、他都市優良事例等を教員がいつでも入手できる環境が必要。</li> <li>令和3年度中に開設予定のポータルサイト(授業例、優良事例、操作方法などの基本事項等を掲載)等を活用し、学校現場への情報共有を行う。(着手中)</li> </ul> <p>【学校現場の声】(アンケート調査より)</p> <p>操作方法や活用方法の情報がなく困っている。役立つ情報をいつでも見られるようにしてほしい。</p>	 
<p>【施策4】</p> <p>「推進リーダー」の育成</p> <p>ICT支援員の配置</p> 	<p>○「市内推進リーダー」「校内推進リーダー」の育成</p> <p>【配置】「市内推進リーダー」9名「校内推進リーダー」各校1名</p> <p>【育成】ICTの効果的な活用を学ぶ研修会を年数回実施。</p> <p>【効果】活用力に長けた人材がいる一部の学校では、授業で活用、他の教員へのノウハウ伝達。一方で、詳しい人材が少ない学校も多数。</p> <p>○ICT支援員</p> <p>【支援内容】校内研修支援、授業支援、端末操作支援等</p> <p>【本市の配置規模】各校1回/月(R3.8月～)</p> <p>【課題】活用ノウハウを支援する人材が少ない学校では、教員が活用を進められない状況。</p> <p>【学校現場の声】(アンケート調査より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人的支援がなく、使用が困難。</li> <li>使い方を支援してくれる人が常にいてほしい。</li> <li>ICT支援員は絶対に来てほしい。</li> </ul>	<p>○推進リーダー育成の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、各推進リーダーの育成を進め、活用ノウハウを学校に浸透させる必要。</li> </ul> <p>○ICT支援員の拡充・継続配置</p> <p>【国】1人/4校(交付税措置)</p> <p>【他都市】月2回以上が大半(※詳細は調査結果)</p> <p>【文科省パンフレット「ICT支援員の配置を」より】ICT支援員は、教員が機器の操作に慣れれば不必要になる存在ではありません。継続的にICT支援員を配置することがICTの活用促進につながります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教員の負担を軽減しつつ、学校教育におけるICT活用を推進していくため、ICT支援員は不可欠。<b>規模の拡充、令和4年度以降も一定期間継続配置</b>が必要。</li> </ul>	<p>ICT支援員に係る他都市調査結果</p> <p>①支援員の配置規模(訪問回数)</p> <p>回答17政令市のうち、</p> <p>【委託(訪問)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>週1回以上 6都市</li> <li>月2～3回 7都市</li> <li>月1回以下 0都市</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>委託(電話) 1都市</li> <li>未配置 3都市</li> </ul> <p>②継続配置の理由・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先生方、慣れてくると専門的な質問が増えるので、継続配置が必要。</li> <li>機器やアプリの更新に対応するためには、専門知識を有した人材の継続的な支援がなければ困難。</li> <li>今後、デジタル教科書、CBT化など新たな取組が段階的に発生。継続的な支援がなければ、現場だけでは対応不可。</li> <li>本市は、H21から配置。未だ学校現場からは、支援員の訪問が不足しているとの声がある。継続的な支援がないと、新たな取組へ対応できない。</li> </ul>
<p>【施策6】</p> <p>ネットワーク環境の強化、1人1台端末の整備</p> <p>指導者用端末の配備</p> 	<p>○学習用端末・指導者用端末の配備</p> <p>【学習用】R2:小4～中3 配備完了</p> <p>R3:小3 配備</p> <p>【指導者用】R3配備 約1,600台/約2,700人 ※約1,100台不足現在未配備。授業準備、子供たちへの対応等に支障を来している。</p> <p>○通信環境の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R2までに全校で整備済。通信環境が弱く、複数クラスで一斉に使用すると止まってしまうなどの声がある。</li> <li>R3:小・中学校65校を対象に通信環境強化に向けた工事を実施。</li> </ul> <p>【課題】指導者用端末の不足や通信環境の不具合により、授業づくりが円滑に行えない状況あり。</p>	<p>○学習用端末・指導者用端末の配備</p> <p>【学習用】計画どおり配備。令和4年度までに小1・2の子ども達へ。</p> <p>【指導者用】授業づくりを円滑に行うため、<b>1人1台配備</b>(不足分約1,100台の配備)を求めていく必要。</p> <p>○通信環境の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後、授業の高度化・使用コンテンツの変化等の環境変化により、強化に向けた施策を検討する必要あり。</li> </ul> <p>【学校現場の声】(アンケート調査より)</p> <p>教材研究、授業準備のためには、指導者用端末が1人1台絶対に必要。端末を使おうという教員の心の火が消えないうちに導入を。</p>	